

# 普及センター 4月 もりおか

インターネットでオールカラーの記事が読めます！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第214号 令和7年3月28日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

## 今年度の農業関係表彰者（盛岡農業改良普及センター管内）

### 県表彰

| 個人・団体名<br>(敬称略)                      | 表彰事業および種類                                                        | 生産面・経営面の特徴等                                                                                                                         |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北田 亮<br>(盛岡市)                        | 令和6年度いわて農林水産<br>振興協議会会長表彰<br>明日を拓く担い手賞<br>【農業部門】                 | 秋冬期はりんご、初夏から晩夏はブルーベリーを生産し、鮮度保持技術や加工品販売と組み合わせて通年の出荷体制を確立している。また、青年クラブの役員として活動するほか、青年農業士にも認定されている。                                    |
| 合同会社<br>湧くわく工房<br>(盛岡市)              | 令和6年度いわて農林水産<br>振興協議会会長表彰<br>意欲ある担い手賞<br>【農業部門】                  | アイガモ農法による有機栽培に取り組む。有機 JAS 認証済の有機米は、業者販売するほか、地域の湧き水にちなんだ「湧口米（わくっちまい）」として商標登録し、宅配による個人販売も行う。また、6次産業化にもいち早く取り組んでいる。                    |
| 新岩手農業協同<br>組合南部地域<br>花卉生産部会<br>(雫石町) | 令和6年度いわて農林水産<br>振興協議会会長表彰<br>個性ある「産地づくり」賞<br>【農業部門】              | 雫石町・滝沢市の52名の花き生産者により構成され、主力のりんどうのほか、小ぎく、トルコギキョウなど多様な品目を周年出荷している。りんどう生産が拡大しており、令和4年度は花卉部会全体で販売額2億円を達した。                              |
| 岩手中央農業<br>協同組合<br>りんご部会<br>(紫波町)     | 令和6年度いわて農林水産<br>振興協議会会長表彰<br>いわて農林水産振興協議会設立<br>20周年記念賞<br>【農業部門】 | 消費者の求める安心安全なりんご生産を目指し、全国に先駆けて、平成15年から、農薬・化学肥料の使用量を県の定める基準の半分に抑えた「特別栽培」に産地ぐるみで取り組む。平成16年度には、りんごでは全国初となる特別栽培農作物の認証を取得し、21年間取組を継続している。 |

# おめでとうございます！

# 令和6年度実証圃取組結果を紹介します！

## テーマ「軽労な追肥「流し込み追肥」で環境保全」

目的：海洋汚染の一因となる  
プラスチック被膜肥料の削減

### 内容

- ・自動水管理システムを活用した流し込み追肥の実施により肥効調節型肥料の使用を削減
- ・ドローン空撮により追肥の可否、追肥による水稻生育への影響を確認・



流し込み追肥の様子

### 結果

- ・自動水管理システムにより水管理に係る労働時間が約8割削減
- ・流し込み追肥は1圃場当たり約5分（肥料計量と設置）
- ・倒伏が無ければ一発肥料と同等の収量・品質を確保

### 注意点

- ・流し込み追肥には十分な用水が必要課題
- ・生育ムラの補正効果がないので、基肥散布などムラが生じないように丁寧に行う。

## テーマ「屋根散水による高温対策実証」

目的：ハウス内気温を低下させるため、  
低コストかつ簡易に設置可能な屋根  
散水の効果を確認する。

### 内容

- ・課題：年々夏の暑さが厳しくなる中、  
新たな高温対策が求められている。
- ・方法：ハウス屋根頂上に灌水チューブを  
設置し、屋根面に散水する。



灌水チューブから屋根面に散水  
している様子

### 結果

- ・晴天日にはハウス内気温が最大2℃低下した日があった。しかし、曇雨天日、強風時は効果が低くなった。
- ・作業員から、屋根散水を導入したハウスの方が涼しいとの感想が聞かれ、作業性の改善効果が見られた。
- ・導入にあたっては、ハウス軒高によっては能力の高い給水ポンプが必要となること、散水した水が侵入しないような対策が必要となることがわかり、導入を推奨できる条件を整理できた。

### テーマ「果樹における落葉処理技術の実証」

目的：落葉処理機器を活用した省力的な  
落葉処理技術の普及

#### 内容

- ・りんご、ぶどうにおける落葉処理技術  
(スーパー、プロパキーム) の比較
- ・落葉処理による病害虫発生抑制効果の確認



スーパーによるぶどう落葉処理

#### 結果

- ・スーパーを使用することで、慣行の熊手による処理に比べ作業時間を3割程度に削減することが可能
- ・病害虫発生抑制効果については、本年調査を実施予定（結果が分かり次第お知らせします）

### テーマ「りんどう県新品種・有望系統の現地適応性実証」

目的：県が開発した新品種・有望系統の展示圃を  
設置し、品種特性を把握するとともに、生産者  
に広く周知し、品種の早期普及を図ることを目  
指しています。

#### 内容

- ・生育調査（立茎数、欠株率、病害  
虫発生状況、他）
- ・開花期調査（採花盛期、採花期の  
草丈、花段数、他）
- ・現地見学会の開催
- ・実績検討、結果周知



開花期を迎えた極早生有望系統

#### 結果

- ・調査した4系統のうち盆需要期向けの「20-96」は、高温下でも頂花が開花しやすく、既存品種より高温障害花（花弁の着色不良）が少ないことから、「いわてEB-5号」として品種化される見込みとなった。

### テーマ「採草地におけるニホンジカの被害対策実証」

目的：牛舎から離れた広い採草地において、  
漏電対策（下草刈りや電気柵の稼働状況  
確認）を必要としない新たな対策  
（ワイヤーメッシュ立体柵）を実証しました。

#### 内容

- ・被害量の調査
- ・ワイヤーメッシュ立体柵効果確認のため  
の収量調査
- ・ワイヤーメッシュ立体柵の耐久性確認
- ・結果周知

#### 結果

- ・対策未実施の場所の被害率は最大で約50%
- ・立体柵の設置により、約2倍の収量増
- ・一冬を越し、約1mの積雪でも破損なし



ワイヤーメッシュ立体柵  
(溶接金網を高さ1m、奥行1m  
の箱型にして設置)



# 令和6年度新規に認定となりました 農業農村指導士を紹介します！

①北田正和  
②盛岡市  
③りんご、ブルーベリー  
④農協、市場を中心とした通常出荷に加え、地元スーパー、デパートとの連携により独自販路を開拓し、お歳暮用など顧客向け高単価商品などの有利販売を実現している。生産面では品種選定や改植を進めるほか、スマートフレッシュなどの新技術も取り入れ品質維持に努めている。

①若江俊英  
②盛岡市  
③大玉・中玉トマト、ミニトマト  
④環境制御技術を活用したトマトの越冬周年栽培を実現。越冬長期作型と慣行夏秋作型を組合せる。作業管理や労務管理には自社開発したシステムを利用する。盛岡市近郊を中心とした小売店に直接出荷し、品物は樹上完熟を原則とするなど、高鮮度製品の提供に努めている。



(左から知事、北田氏、若江氏、宮林氏、高橋氏)

①宮林泰之  
②滝沢市  
③酪農、和牛繁殖  
④牛群改良による乳質改善と乳量アップで経営安定を図る。また、共同作業による飼料生産を行い、自給飼料の多給による健康で優良な牛づくりと生産コストの低減を図っている。育成牛は公共牧野に通年預託しており、飼養管理の省力化を図っている。

①高橋かおる  
②矢巾町  
③花き、水稻、小麦、りんご  
④花きでは露地栽培と施設栽培をそれぞれ複数の品目で取り組む事により、長期出荷ができる経営を実現している。また、雇用をスポットで実施し、作業効率を高めている。花き及びりんごは盛岡市内のスーパーマーケット等にて販売するなど、直売にも取り組んでいる。

①氏名、②市町村、③経営品目、④経営概要

# 転出者紹介

① 氏名、②在年数、③次の勤務地、転出者から一

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 加藤 満康<br/>② 2年<br/>③ 盛岡振興局農政部</p> <p>私は役職定年になります。時代が変わっている今、皆で目標を共有し、力を合わせることで、出来ることを着実にやっていくことが益々大事になっていると思います。盛岡地方で暮らす皆様でなければ出来ないことを大事に、地域農業を次代につなげて参りましょう。2年間、お世話になりました。ありがとうございました。皆様の御多幸をお祈りします。</p>  | <p>① 櫻田 弘光<br/>② 3年<br/>③ 定年退職</p> <p>定年退職となりました。盛岡普及センターでは今回3年間と令和元年まで4年間の合わせて7年間、みなさまにはたいへんお世話になりました。ありがとうございました。管内に住まいです。みなさまにお会いすることもあるかと思ひます。これからも、どうかよろしくお願い致します。</p>                                                    |
| <p>① 長崎 優子<br/>② 3年<br/>③ 本庁 農業普及技術課</p> <p>3年間大変お世話になりました。初めての盛岡普及勤務でしたが、以前から知っている農業者の方々も多く、とても充実した時間を過ごさせていただきました。市町・JA等の関係機関の皆様にも大変お世話になりました。盛岡地域の農業振興と農業者の皆様の経営発展を心からお祈りしております。ありがとうございました。</p>             | <p>① 佐々木 利枝<br/>② 4年<br/>③ 八幡平農業改良普及センター</p> <p>経営と集落営農担当で、法人や集落営農組合の立ち上げ及び各種研修会などを担当させて頂きました。この4年間は、私にとっても、これからの地域の営農を考える非常に有意義な時間になりました。お世話になった農業経営者の皆様や関係機関の皆様に、厚く感謝申し上げます。皆様の地域の営農が今後も維持発展できますよう、祈念しております。</p>             |
| <p>① 舘 結香<br/>② 5年<br/>③ 本庁 畜産課</p> <p>5年間、和牛繁殖農家さんの支援を担当し、地域の皆様には大変お世話になりました。4月からは県庁へ異動し、県全体の畜産振興業務に携わる予定です。盛岡地域の担当ではなくなりますが、畜産農家の皆様のお力になれるよう業務に努めますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。</p>                               | <p>① 鈴木 翔<br/>② 2年<br/>③ 本庁 農林水産企画室</p> <p>花き担当として、2年間大変お世話になりました。短い間でしたが、多くの生産者や関係機関の皆さまに支えられ、楽しく、やりがいを持って仕事をすることができました。今後も、当産地の益々のご発展と皆様のご多幸を願っております。本当にありがとうございました。</p>                                                   |
| <p>① 田口 礼人<br/>② 4年<br/>③ 奥州農業改良普及センター</p> <p>果樹担当として4年間お世話になりました。生産者、関係機関・団体の皆様には温かく受け入れていただき、りんご、ぶどう等に関する様々なことを勉強させていただきました。今後も盛岡地域の農業・農村の益々のご発展を祈念しております。新任地でもがんばります。ありがとうございました。</p>                      | <p>① 村岡 希<br/>② 3年<br/>③ 二戸農業改良普及センター</p> <p>新採用から3年間お世話になりました。盛岡地域のこと、水稻、畑作物の栽培のことなど、多くのことを学ばせていただきました。皆様が暖かく迎え入れてくださったおかげで普及員としてやりがいを持って仕事をすることができました。新任地でも盛岡で学んだことを活かして頑張ります。盛岡地域の今後ますますのご発展を願っております。本当にありがとうございました。</p>  |

なお、地域指導課 上席農業普及員 佐藤 嘉彦にあっては、地方自治法第252条の17第1項により、4月1日から6月30日の間、石川県中能登農林総合事務所に派遣となります。